

香港で新型コロナウイルス感染者の飼育犬から弱陽性反応が出た事例について

香港・漁農自然護理署は2月28日、新型コロナウイルス感染者の家庭で飼育されていた犬から同ウイルスの弱陽性反応が出たと発表しました。

しかし、日本獣医師会は、日本におけるペットの新型コロナウイルス感染は現時点では問題としないと考えます。

香港の例は、体にたまたま付着したウイルスの遺伝子をPCRで検出した可能性が考えられます。また、報告された事例は本件1例のみであり、犬にウイルスが感染し、犬の体内で増殖して排出されたと確認されてはいません。

むしろ本事例は、新型コロナウイルスが飼育者から犬に移行したものと考えるのが妥当であり、現時点では、飼育者がしっかりした感染防御の対応をとることが最も重要だと考えます。

令和2年2月28日

公益社団法人 日本獣医師会

※令和2年3月5日追記：

本件については、最新情報が以下に公開されています。

○国際獣疫事務局（OIE）ホームページ Q&A

<https://www.oie.int/scientific-expertise/specific-information-and-recommendations/questions-and-answers-on-2019novel-coronavirus/>

○香港政府プレスリリース

<https://www.info.gov.hk/gia/general/202003/04/P2020030400658.htm>